

常務取締役
山田 文夫



SDGs 推進に向けて。 持続可能な未来を創る道筋

SDGs 推進委員会設立の背景と役割

株式会社協栄は、創立 60 周年を迎えるにあたり、社会貢献の一環として SDGs に取り組むことを決定しました。取締役会において社長よりこの方針が示され、実行機関として「SDGs 推進委員会」が立ち上がりました。私は SDGs 推進委員長を拝命後、次世代を担う従業員を各部署から選任し、推進委員として任命しました。推進委員は、各部署の SDGs 活動を主導することで、全体の取り組みを活性化させる役割を担います。SDGs の目標達成に向け、委員会で創出したアイデアが取締役に承認され、全社的な取り組みへと展開できるよう努めてまいります。

企業価値向上と SDGs 推進の意義

協栄は、経済価値と社会価値のバランスを取りながら、長期的な企業価値の向上を目指しています。それを実現するためには、売上や利益の追求だけでなく、従業員やお客様からの信頼を得ることが重要です。協栄のコーポレートロゴの 3 本線には創業者から引き継いだ、「お客様」「従業員」「会社」が心を結び合い、ともに歩みたいという三方よしの想いが込められています。SDGs への取り組みを通じて、この理念を体現し、持続可能な社会への貢献を進めてまいります。

また、ガバナンスの強化に向けて、事業運営の健全性、効率性、透明性の向上を図り、内部統制システムを構築し、適切なリスク管理を推進します。この取り組みは、SDGs の目標達成に貢献するとともに、すでに取り組んでいる社会的規範であるハードロー（hard law）としての ISO、企業の社会的責任としてのソフトロー（soft law）である SDGs を企業統治の両輪ととらえ、当社の持続可能な成長を支える重要な基盤となります。

さらに、企業価値向上を図るなかで、SDGs の目標達成に向け、企業活動を通じた社会課題の解決を目指します。環境負荷の低減、働きがいの

ある職場づくり、地域社会との共生など、多様な視点から SDGs に貢献することで、持続可能な成長を実現します。

SDGs 推進のビジョン

協栄の SDGs 推進は、これまで培ってきた歴史と信頼を大切にしながら、地域社会のさらなる発展を目指すものです。私たちはこの活動を、ステークホルダーに協栄の取り組みを伝え、共通の価値を創造する機会として捉えています。

そして、共通の価値を創造するためには、従業員一人ひとりの意識を高め、組織全体で取り組むことが不可欠です。従業員が業務のなかで SDGs を「自分ごと」として捉え、積極的に参加できるよう、推進委員会として具体策を検討し、発信してまいります。

協栄は、持続可能な社会の実現に向けて、全社一丸となって SDGs 活動を推進してまいります。今後とも、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

